

# すばらしい日々 wiki

※ネタバレを含みますので本編を読んでから、お読みください。

## あ

- 雨へあめく
  - ※上巻 P29 他
  - この物語の推理部分においてキーとなる存在です。目立たないように、気づかれませんが、いろんな方から「あれ、生石灰（乾燥剤）」と指摘され、すぐにはばれてしまいました。推理ものって難しいですね。
- 飯野まさみへいひのまぢみく
  - (1999年当時：46才)
  - ※登場人物
  - カルト宗教「ブラフマン原理教」の教祖。1989年の一連のテロ活動により、×県×村に形成した「コミュニン」内で逮捕される。一番二番ともに死刑判決を受け、最高裁へ上告するも棄却。事件より10年後となる2009年に刑が執行され鬼籍へと入った。
  - モデルはもちろん実際のオウム真理教の教祖：麻原彰晃。…ですが、飯野まさみは女性というところで設定されています。実は、麻原と同じく宗教上の名前を設定していて、狩野栄光（かのうえいこう）という名前だったのですが、うまくセリフに織り交せることができず作中で使用する機会はありませんでした。まあ、なんというか、ネタにすらなっていない子ネタですので、作中で使用しないのが正解だったかと今は思います。
  - ネーミングは、ゲーム「Dの食卓」の脚本：飯野賢治 + 漫画：『機動警察パトレイバー』

## さ

- 余談までと言つと、彼は高校・大学と演劇部所属です。
- ネーミングは、映画：『日本の黒い夏ー冤罪』の監督：熊井啓 + 小説：『風の歌を聴け』の著者：村上春樹より。
- 冴木へさえきく（公安職員の名：6才）
  - ※登場人物
  - 本作の事件により死亡。事件当日、現場にて森伊織と接触していたと思われる。○すぐ死んじゃったので、たいした思い入れもなく、名前も設定当時、適当に考えました。
- Zawfreacheat
  - へわわ・へじゅーへーんく
  - ※下巻 P34
  - 同人漫画『Private World』でおなじみのサークル「Lostwomen」のザワさんから許可をもらいまして、Deepちゃんねるのロゴに、ネコを使用させてもらいました。彼の描くネコは破壊的に可愛いらすて。な。
  - 死神へしにがみく
    - ※上巻 P41
    - 高村のことを示しています。ちなみに「欠損しちゃった鎌の申請」とは、高村の義手購入の申請です。これも発注時期に気を使つて「Dの食卓」が、シヨ

- バー（全2巻）の著者：ゆきまきより。
- うわあ頑張ろう
  - へうわあがんばろうく
  - ※下巻 P34
  - カイン青山氏こと、高藤佑樹の名言「うわあ頑張ろうビッグになろう」より。よく2ちゃんで使用されているのを目にします（苦笑）。
- おこりのビールへおこりのびーるく
  - ※下巻 P16
  - 高村が残したビール。藤原は毒の混入を怪しんで捨てました。

## か

- カレルレンへかれるれんく
  - ※中巻 P25 他
  - 「Dの食卓」草案・創設時の中心人物。「円卓の騎士」の時代は常連メンバーとして円卓に属していたが、その後、資金運用や実行部隊の編制・統率など、リアルの実務の統率に追われるに従いDちゃん内での活動は口ム専になりがちになり、近年はスレの表舞台からほとんど姿を消した。本作の事件以前より、一部政治家と、検察・警察・公安上層部の買収を精力的に実行する傍ら、高村などのテロリスト実行部隊の生産も精力的に行つている。
  - 本来選出された12名の議員以外の発言は禁止されている「Dの食卓」スレッドに唯一自由に書き込むことを許されている。
  - カレルレンのあだ名は、Dちゃんねる内の都市伝説的・自然発生的に名付けられ、アーサー・C・クラークのSF小説「幼年期の終わり」に登場する姿を見せない宇宙人による

- コーンを知らずに青春を送りまして、あまり詳しくありません。むしろ私の妻がファンだったのもです。
- 今回このタイトルを冠した理由は二つあって、一つはロストジェネレーションはじめの世代が育った1990年代を象徴するバンドである「ニコーン」の楽曲を使用したがったこと、もう一つは、これは私の僻みみたいなものですが、日本のロック好きの「ある世代」が、「ニコーン」が好きかどうか、をまるで踏み絵のように扱う傾向のある人が多くてうんざりしていたので、ある種の皮肉をこめて。
- 一つもタイトルに音楽関連の名前をつけて、実際、プロットやネームを書く際に聞き込むのですが、歌詞の内容を含め、これ以外のタイトルは無いなあ…と、結局は曲に魅了されたウチヤマであります。

- ソマンへそまんく
  - ※上巻 P28
  - ソマン (Soman) は、サリンと並ぶ神経剤の化学兵器。毒としての効力はサリンより強く、ソマンの一分間に吸入して半数の人が死に至る量は、1mgあたり70mg (サリンは100mg)。
  - 発見されたのは第二次世界大戦後で、一時はソ連が主力戦略兵器として投入されていたが、国連決議において大量破壊兵器に分類され、1993年に化学兵器禁止条約においてソマンの使用・保有が禁じられた。
  - サリンでも良かったんですが、過去の事件との混同でややこしくなるので、あえて別の神経剤に変えました。

- 来る。
- 「幼年期の終わり」好きなんですよ、父に薦められて、生まれて初めて読んだ海外SFです。せひ！映像化しないでください！（痛哭）

- 川崎ビルチンクへかわさきびるちんくく
  - ※中巻 P54
  - 高村の潜伏先となるビルルの名称
  - 逃走犯としてモデルにしていた、オウム真理教、指名手配犯の高橋克也の潜伏先が川崎であったため、本作でもそれを踏襲して、潜伏先を神奈川県川崎市にせっせしてビルル名に冠しました。

- 熊井春樹へくまいはるきく (28才)
  - ※登場人物
  - 山本がパイプを持っている監視庁の刑事。高村の居場所を藤原らが突き止めた時、神奈川県警と合同に高村の潜伏先を包囲・逮捕へ同行。
  - …が実は、警察組織に紛れ込んでいる「Dの食卓」のシンパの一人（「ファミリア」の項絵を参照。食卓の意思により高村を射殺）。
  - 彼が「Dの食卓」のメンバーであることはこの話の2つ目の山（一つ目は藤原が実は生きてたついでござ）：自分と山とが言うのは恥ずかしいですね…で、そのあたりに複雑は、下巻前半の解合編でも顕著に描いています。ひとつは、ふつう刑事はリーマンセル（2人1組）で行動するのが基本ですが、熊井は一人で乗り込みます。通常ではありえない状況です。二つ目は、熊井刑事の統を高村が奪わない点。（続く）

## た

- 高村達也へたむらたつやく
  - (現在：38才、1999年当時：25才)
  - ※登場人物
  - 元「ブラフマン」原理教の信者で逃走犯（教団在籍時、科捜官所属）。
  - 頭の悪い人間を蔑視する、人間関係の構築が苦手な性格。教団内でもやや異彩をはなっていたが、有栖と出会い人との関わり方を見直すように。有栖を通じ藤原弘と出会い、気心の知れた親友関係を構築する。サリン事件後の教団解体前後に失踪。化学兵器の使用罪、公共危険罪、サリン等製造罪など多罪容疑により指名手配された。
  - 高村達也は、同じく「僕と風」シリーズの「嵐」をモデルに、映画『機動警察パトレイバー the Movie』（監督：押井守）の「帆船映」<sup>1</sup>、そして映画『機動警察パトレイバー 2 the Movie』（監督：押井守）の「荒川茂樹」を、参考しました。思考傾向は「荒川」を外見は「帆船」を比較的強くイメージしています。
  - 高村達也は、同じく「僕と風」シリーズの「嵐」をモデルに、映画『機動警察パトレイバー the Movie』（監督：押井守）の「帆船映」<sup>1</sup>、そして映画『機動警察パトレイバー 2 the Movie』（監督：押井守）の「荒川茂樹」を、参考しました。思考傾向は「荒川」を外見は「帆船」を比較的強くイメージしています。
  - 高村達也は、同じく「僕と風」シリーズの「嵐」をモデルに、映画『機動警察パトレイバー the Movie』（監督：押井守）の「帆船映」<sup>1</sup>、そして映画『機動警察パトレイバー 2 the Movie』（監督：押井守）の「荒川茂樹」を、参考しました。思考傾向は「荒川」を外見は「帆船」を比較的強くイメージしています。
  - 高村達也は、同じく「僕と風」シリーズの「嵐」をモデルに、映画『機動警察パトレイバー the Movie』（監督：押井守）の「帆船映」<sup>1</sup>、そして映画『機動警察パトレイバー 2 the Movie』（監督：押井守）の「荒川茂樹」を、参考しました。思考傾向は「荒川」を外見は「帆船」を比較的強くイメージしています。

実は、この「すばらしい日々」は前半と後半で主人公がスイッチングしています。彼は物語の後半の主人公で、中巻P46の有栖とのキスシーン以降は、藤原から彼へと主役の座がバトンタッチしています。特にタイトル「すばらしい日々」は、彼が過ごした教団時代の蜜月のことを意味します。彼の愛した有栖が死に、心を許していた親友弘も去ってしまった以降の世界は、彼にとって「壊れた世界」であり、彼にとっての「すばらしい日々」を壊した世界、社会（果ては神）への復讐として、世界・社会・日本を壊すことを行動原理として、残りの生を過ごしています。

プラマン原理教においては、教義による終末戦争のためではなく、テロによる「秩序の破壊そのもの」を、さらに「Dの食卓」では、目的はテロそのものではなく「食卓」が行う革命の武闘派に賛成するかのように装い、革命後に訪れる日本社会の崩壊を真の目的に活動しています（E）ビローグで高村本人が、「日本がどうなったのか？」に触れています。（詳細は「二・二六事件の項を参照」）。

ネーミングは、小説『レディー・ジョーカー』の著者・高村薫＋映画『A』の監督・森達也より。  
●炭疽菌 ハたんぞきん>  
※上巻 P39  
生物兵器。なんかすごく難しいので、説明を避けます。本当は本作の高村のように、あんな無防備で扱ってはいけない病原体細菌です。  
○実際、オウム真理教も培養し、生物兵器テロを行おうとしたものの、弱毒化し

国内最大級のネット掲示板、一千万人ほどのユーザー数をかかえ、その多くが「Dの食卓」を指示している。  
○モデルは言わずと知れた日本最大級の掲示板サイト「2ちゃんねる」。ですが、多少作中の「Deepちゃんねる」と実際の「2ちゃんねる」では、実情が異なります。それはユーザーの年齢層。  
現在、「2ちゃんねる」の主要ユーザー年齢層は、30代〜40代が中心で、もっともユーザー数が多かった時期よりも高齢化（？）してきているようです。  
実際はこんな秘密結社に発展するほどの力はないでしょうが、まあ、それはご愛嬌。

●読者の挑戦状  
※中巻 P62  
○正解は  
【問1】テロの発生時間が、9時。高村の自殺が、11時30分。科学の結果がすべてを信染にする高村が、テロの結果を確認せずに死ぬのはわかると考えたか。  
【問2】水と生石灰を用いた時限装置で車を炎上・爆発させ、高村であることを証明する右腕のみを車外へ吹き飛ばした。  
【問3】

右腕を吹き飛ばすために空けていた窓から、雨水が侵入し、時限装置が狂ってしまった。この時間の差が【問1】への疑問へつながり、【問2】の時限装置を見破り、高村の生存を推理した。  
というものになります。  
…が、実はこれもすべて「Dの食卓」が仕込んだ推理ゲームの「罠」で、高村の落ち度はありません。

てしまい失敗に終わっています。※第一次亀戸異変事件（1935年6月28日・第二次亀戸異変事件（7月2日）。

●Dの食卓 ハていーのしよたくく>  
※上巻 P44他  
Deepちゃんねるの深層部で活動する秘密結社の総称。  
老舗の政治ネタ系のスレ（田卓の騎士）から派生し、田卓の騎士をモデルとしてDeepちゃんねる上の選挙にて議員を選出。秘密結社として団体名を隠匿するためレトロカルトゲーム「Dの食卓」を名称とした。高齢化によりネット世代・若年世代の政治意思反映が選挙によっても達成できない不平等を憂慮し、その是正のためにネットによる見えない政治革命を目指している。幹部の任期は半年で、自薦・他薦による投票により決定。

再選も可能だが、連続2期まで。その後1期間は立候補不可としている。  
有権者・議員立候補の資格は「Dの食卓」への寄付を4度以上行ったものに送られるIDを持つユーザー。  
定期的なスレッドが立ち上がり、その場所以て会議・行動決定がなされる。  
重要な議題に関しては、実行の可否を問う投票制のスレッドがたてられ、多くのスレッドにまれに登場する、複数の宗教団体・寄付団体へのリンクを通じ、活動資金を収集している。

募金者の多くは、ひきこもり・パラサイト族・若年労働者であり、1回の振込額は500円と固定。  
○こちらに関しては、同名のレトロゲーム

●DOOKIE ハていー>  
※上巻 P49  
○欧米における賭け屋であるブックメーカー（bookmaker ※ちゅめて BOOKIE（ブックー）と呼ぶ）のDちゃんねる版。今回誰が一番早く高村のものへたどり着くかを賭けていた。

●ナイト（内藤です）  
へないと・ないと>  
※中巻 P25他  
村上の店に突っ込みました。  
○Dの食卓（ゲーム）に登場するキャラクター。本作では、シンパによる小規模なテロの実行犯を指します。

●二・二六事件 ハていーろくしけん>  
※下巻 P25  
○高村がたとえた、「Dの食卓」の革命後にもたらされた日本の状況です。  
史実としての二・二六事件は、1936年1月26日から2月29日にかけて日本の陸軍皇道派の影響を受けた青年将校らが183名の兵を率い、昭和三十三行・尊皇討奸」を掲げて起こしたクーデター未遂事件です。  
二・二六事件のクーデターは失敗しましたが、近代日本における戦争に向けた歩みへの転換点ともされる史実で、社会の一勢力の暴走がその後の社会を壊していく例としての比喩として引き合いに出しました。――本当は「Deepちゃんねる」については「ネットウヨ（ネット右翼）」との関係性について

があるのですが、まずはこちらの説明から。  
▼作品データ：  
発売は1995年4月1日。当初は300専用ゲームソフトとして、後にセガサターン（同年7月28日発売）とプレイステーション（同年12月1日発売）でも発売された謎解き型アドベンチャーゲーム。  
株式会社フープが開発したこのゲームは、当時としてはグラフィックがフル3DCGであると言いつつ画期的なアプローチであること、プレイ時間に完璧な制限がかけられている（1時間以内にクリアしないとゲームオーバー）など「映画」を意識した作品として脚光を浴びた。

脚本は当時、新説のクリエーターとして世に出た奇才・飯野賢治。全世界で100万本を販売した。  
▼ストーリー：  
1997年、ダウンタウンの病院で院長を助める「リクター・ハリス」が突然凶変し、患者や医療スタッフなどを次々と射殺して立てこもるという事件が発生する。プレイヤは「ローラ・ハリス」となり、凶変した父親を説得するため単身病院に乗り込むのだが、そこで突然、異次元空間のような物に引きずり込まれ、謎の古城に迷い込んでしまふ。  
以下、ゲームのネタバレを含みます。  
まず、タイトルの意味から（このよりもタイトルが全てとこつても過言ではないです）。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。  
「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

「D」とは何か？これは「リキョウ」の「D」を意味します。  
…このつても、父親やローラの家系は、ある歳を迎えると肉体的変化と別人格が発現。猟奇的になり、人肉を求めるようになります。

脱退後、現在は教団との関係が経ち、数年間の放浪の後、日本へと帰国。都内のスポーツジムのトレーナーとして勤務していた（夜は待望屋でバイトをしている）。  
○藤原弘は、村上春樹の小説『僕と鼠』シリーズ『風の歌を聴け』『1973年のレインボール』『羊をめぐる冒険』『ダンス・ダンス・ダンス』の「僕」をモチーフに、それよりも少しタフでハードボイルドよりの性格形成をさせている。外見はある程度の方がヒンキーしているかと思いますが、漫画『機動警察パトレイバー』著者「ゆうきまさみ」の『後藤喜一（後藤隊長）』をモチーフにキャラメイクしています。

あくまで個人的な解釈ですが、私は「僕」と鼠シリーズは「鼠」が主人公の物語だと思っていて（『ダンス・ダンス・ダンス』を除く）、そんな個人的な解釈を踏襲してプロットを組んでいたため、実はあるシーンで主人公が藤原から高村にスイッチングしています（高村の項を参照）。

実際に描き上がった本編では、最後に「高村」は「薫」に殺されて「藤原」は生き残るEDとなったようですが、この結末は本当に最後まで悩んだもので、当初は「エピソード」に「薫」は登場せず、「藤原」は「高村」に殺されてEDと、となる予定でした。つまりこれまでの山本や藤原の推理・行動は、すべて「Dの食卓」によってあらかじめお膳立てされたジョーレスであり、「藤村」＝踊らされた道化という役割でした。

これはハードボイルドの推理モノであれば石な展開かと思うんですが、どうしても物語の視点を「藤原」に置いている以上、読み手は「藤原」に感情移入しがちになります。2000年を前に、終末が訪れ、現体制・現社会は跡形もなく崩壊する。「その終末以降を統率するのは、宇宙の心理であるプログラムであり、新体制・新社会の権威を手にするために最終戦争（ハルマゲドン）を行うべきだ」と、「D」によって社会を変質させるために、儀式（＝戦争・闘争・テロ）を行い生贄（＝犠牲者）を捧げる事への狂信を説いた。

○もちろんモデルになっているのは実在したオウム真理教。ただ起こした事件の年はずらしてありまして、1995年に起こった地下鉄サリン事件は、プログラム原理教では1999年に起こしたことにしています。

この話を描きはじめてから、急に現実のオウム真理教の事件が動き出しました。指名手配犯の出現・逮捕が続く、これを書いている今では逃走犯のすべてが出現・逮捕され、該当から指名手配のポスターが消えました。この手のテーマを描くことの難しさを実感しました。

## ま

●玉田イベントへみずたまじいべんと

※中巻P60

○「Dの食卓」ゲームの真のエンディングを迎えるために必要な、キーイベントのことを言います。本作では、革命の成就に必要な事案「中巻Pの場合、選挙制度改革法案の」の達成を指しています。

●村上啓へむらじかみけり

（現在：40才、1999年当時：27才）

※登場人物

ちになります。それを最後に急転直下「道化でした！バーナー死亡ー！」なんてやるのはいかなるものか？作者である私の自慰行為になってない？そもそもそんな主人公のスイッチング設定なんて物語の構成上明確にはできないし、結果読み手の後味を悪くするだけになってしまいいやしないかなどなどと思いついた末、妻との協議の上今の形に落ち着きました。描き進めているうちに彼というキャラクターが好きになって、なのかもしれないですけれど、殺すのはかわいそうという親的な感じかなきにしてもあらず…といったところでしょうか。

ネーミングは、小説『テロリストのパラソル』の著者：藤原伊織＋小説『神は沈黙せず』の著者：山本弘より。

●ブラウン神父へぶらうんしんぶ

※下巻P26他

ブラウン神父は、ギルバート・ケイス・チェスターン著の推理小説「ブラウン神父シリーズ」に登場する架空の人物。イギリス・サセックス教区のカトリック司祭にしてアマチュア探偵。世界三大探偵に挙げられるもいる（あとの二人は、シャーロックホームズと、エルキュール・ポアロ）。E作の短編に登場する。

○実はこのくだりは、「木の葉を隠すなら森の中」というキーワードを、なんとかうまく活用できないから」と適当に検索したら発見できた内容で、昔から知っていたことではないです。まったくの偶然の産物です。知ってから、「ブラウン神父の童心」を購入して読んだのですが、翻訳の古典は難しいですね。面白いんですが、読むのに非常に骨が折れます。

に骨が折れます。

●プログラム原理教へぶらふまんげんりきよう

※上巻P10他

プログラムとは、ヒンドゥー教またはインド哲学における宇宙の根本原理。サンスクリットの「D」を意味し、特に、物質世界を変える儀式や犠牲（生贄）の力を意味するヒンドゥー教を基盤とした教義であるが、現在のインドで信仰されているヒンドゥー教とは異なり、古代ヒンドゥー教である「バラモン教」復古を掲げているため、最高神はシヴァではなく、一定ではない（中心となる神は、インドラ・ヴァルナ・アグニなど）。

バラモン教と同じく、四姓制と呼ばれる階級制度で組織を統率。バラモン教では、司祭階級バラモンが最上位で、クシャトリア（戦士・王族階級）、ヴァイシヤ（庶民階級）、シュードラ（奴隷階級）と並び、さらにこれらのカーストに収まらない人々はその以下の階級ハンチャマ（不可触賤民）としていたが、プログラム原理教では、幹部をバラモン（最高司祭、幹部の部下である各部門長をクシャトリア（上級戦士・支配階級）、各部門所属信者をヴァイシヤ（平級信者）、修行中の新人信者をシュードラ（被教育階級）、そして市井の非信者達をハンチャマ（要救済賤民）と呼んだ。当初バラモンは教祖一人であったが、組織の拡大により幹部をバラモンとし、教祖はバラモンより上位にあたるプログラマー（＝神との一視視）を創作した。

当初は飯野まさみへいいのまさみくという女性が始めたヒンドゥー教とその神々の骨が折れます。

教団の衛生部に所属し、有栖の看病にあたっていた女性。弘とも親しく、当時つきあっていたという噂も流れた。教祖の逮捕後、教団を脱退し、社会復帰を目指すものの、被害妄想に囚われ自宅に引きこもり生活。

藤原に想いを寄せるも、教団関係者との一切の関係を絶つていた彼に迷惑かかると判断し、想いは秘めたままだった。

○取り立ててモデルはいませんが、カルト教団にこそな、ちよっとメンハラ系女性を描こうと思って作成したキャラクターです（ヤン・アレ属性ってこういうのであっています）。

●森薫へもりいおひ

※登場人物

森伊織の妹。姉の死後、山本とともに自宅へ訪れた藤原と出会う。

姉との関係は比較的良好で、教団在籍時に姉が藤原に好意を寄せていたことを知っていた。

事件解決後藤原の下に押しかけ、藤原とともに出国（パオ共和国に居を構え、現地で結婚。一女（し）のぶをさすがる。○もともとはこんなに話に登場する予定ではなかった彼女ですが、話を作りこむ中でどんどん勝手に動いてまい、いつの間にか姉の伊織を脇へ追いやりヒロインの座に君臨してしまいました（彼女のおかげで何度話を直す羽目になったのやうに…）。イメージとしては、森見登美彦作品に登場する、少し変わった奔放で活動的な女性性。性格的には「太陽の塔」の水尾さたや、夜

勉強サークルがはじまり。

そのサークルにて行われた、教祖と後の幹部となるメンバーによるインド旅行をきっかけに、D力を通じて神秘体験から、神降しによって精神のうちに神を向かい入れ、宇宙と一体化する儀式がサークルの中心活動となり、飯野有栖を教祖としたカルト宗教へと発展

強い神々の教団に心にしみ込ませ、その「D」を信じ、己の心を犠牲にして身の内に神を住ませることにによって宇宙の根源である神「プログラマー」に近づく事によって、己とその周辺である世界を変革しようとする教義となった。しかし、信者が増え、己のうちに神を住ませるための儀式が過激なものや、洗脳的な傾向を強めるにつれ宗教自体がカルト化し、さらにそれが世間へと浸透するうちに、排他的で外部への攻撃性を強める危険な教団へと変質。一部の儀式に精神高揚剤（簡単にいうと麻薬）を使用する事もあり、若年層の支持も集めることとなった。

精神高揚剤を用いた儀式によるトランス状態を経緯として、病状が回復したりする例もあるとされた（この話を聞いて弘は入信を決意する。※未時末症状で、副作用や病状による苦しみと戦っていた妹の苦しみを麻薬によって和らげようと思っていた。（続く）

は短し歩けよさぐさの黒髪の子女、外見的にはアヌー四畳半神話大系、の明石さん

をモチーフにしています。

ネーミングは、映画『D』の監督：森達也＋小説『レディー・ジョーカー』の著者：高村薫より。

## わ

●山本賢治へやまもとけんじ

※登場人物

公安調査庁勤務の公安調査員。元プログラム原理教信者の動向を定期的に調査・監視。本編の事件（帝都ホテル毒死事件）に不審な背後関係を感じ、中は強引に藤原を引き回し調査を開始する。

○藤原を引き回すつもりが逆に引きずり回される表れな公安ごと、山本さんです。特に下巻では、1〜3ページごとに驚かすだけのおじさんになってしまっています。

下巻では、彼は仕事理由に日本へ残ることになりますが、本当の理由は10年ほど前に死別した妻の墓があるためです。彼のイメージは主に映画『タイ・ハード』のマクレーン警部、『ブルース・ウィルス』の外見そのままブルース・ウィルスをイメージしてキャラメイクしています。特に『タイ・ハード』の「爆弾魔に振り回されるマクレーン警部を意識していました。髪の毛が剃り込み型に薄くなっている傾向が藤原とかがりまして、今作は、剃り込み型に頭の薄いおじさんばかり描いていたイメージがあります。

ネーミングは、小説『神は沈黙せず』の著者：山本弘＋ゲーム『Dの食卓』の脚本：飯野賢治より。